

第7回 IJF ベテランズ国際柔道大会 大会要項
個人戦（体重別・年齢別男女）

オランダ・アムステルダム

暫定スケジュール

9月19日(土)	夜	レジストレーション アクレディテーション	公式ホテル
9月20日(日)	朝・昼	レジストレーション アクレディテーション	公式ホテル
	午後・夜	公式計量	
	夜	審判会議	
	夜	抽選	
9月21日(月)		試合 M6・M7・M8・M9	会場
	午前・午後	レジストレーション アクレディテーション	公式ホテル
	午後・夜	公式計量	
	夜	抽選	
9月22日(火)		試合 M1・M3	会場
	午前・午後	レジストレーション アクレディテーション	公式ホテル
	午後・夜	公式計量	
	夜	抽選	
9月23日(水)		試合 M4・M5	会場
	午前・午後	レジストレーション アクレディテーション	公式ホテル
	午後・夜	公式計量	
	夜	抽選	
9月24日(木)		試合 M2・女子カテゴリー	会場
	夜	IJF ベテラン委員・審判員ディナー	

主催

オランダ柔道連盟

国際柔道連盟

会場

Sporthallen Zuid Burgerweeshuispad 54 1076 EP Amsterdam

参加費

1人 150 ユーロ

コーチカード 1枚 50 ユーロ

*エントリー料金の支払いをオランダ柔道連盟に行った時点でエントリーが確定する。

支払われたエントリー料金の払い戻しは行わない。

参加資格

以下のすべての条件を完全に満たしている個人が本大会への参加資格を有する。

A: 2015年12月31日の時点で30歳以上の者。1985年以前生まれ。

B: 現在、IJFに加盟している国内連盟の登録会員であること。

C: 本文書に指定される締め切り日までに、参加費をすべて支払うこと。

D: レジストレーション時間内に登録すること。（レジストレーションの時間はスケジュールの項目参照）

E: 計量の細かい条件を満たしていること。

F: 写真と生年月日が記載されている有効なパスポートもしくは国家IDを提出すること。

G: 本大会開始日前の過去12ヶ月間に、ナショナルチームとして国際シニアレベルの試合に出ていないこと。

（2014年9月21日～2015年9月21日の期間）

H: 所持しているパスポートもしくはIDと同じ国から、且つ1カ国からのみエントリーすることが出来る。もし2015年9月21日より前の1年に国籍を変更している場合は、現行のIJFのSOR（大会運営規程）に則り、国籍変更前の連盟と、国籍変更後の連盟の両方の許可を得て、変更承認の文書を持っていること。この文書は大会エントリー時に提出しなければならない。

I: すべての選手は最低1級であること。

保険

選手は、怪我と第三者賠償（賠償責任）について保険に加入していなければならない。

国際柔道連盟及び主催連盟とそのスタッフは本大会に参加することに起因するいかなる損害、怪我、死亡についても責任を持たない。

本大会に参加する前に、医療診断を最近受けていることをすべての選手に対して推奨する。

大会ルール

IJFのSORルール沿って行う。

年齢区分（年齢の分け方）

最少年齢は2015年に30歳となる者を基本に、選手は各年齢区分に分けられる。

各年齢区分は生年月日により5年ごとの幅で決定される。

年齢区分	生まれ年	実際の年齢
F1/M1	1985-1981	30-34
F2/M2	1980-1976	35-39
F3/M3	1975-1971	40-44
F4/M4	1970-1966	45-49
F5/M5	1965-1961	50-54
F6/M6	1960-1956	55-59

F7/M7	1955-1951	60-64
F8/M8	1950-1946	65-69
F9/M9	1945-1941	70-74
F10/M10	1940-1936	75-79
F11/M11	1935以前	80以上

階級（IJF 公式階級）

女子：-48kg、-52kg、-57kg、-63kg、-70kg、-78 kg、+78kg

男子：-60kg、-66kg、-73kg、-81kg、-90kg、-100kg、+100kg

試合時間

試合時間 3 分でゴールデンスコアは制限時間なし。

各自、自分の試合時間を把握する責任がある。現れなかったことによるクレームは一切受け付けない。

カテゴリー統合

国際柔道連盟のテクニカル役員は、カテゴリー統合の方針を遂行するために、オーガナイザーの中から適切な人物にその任務を与える。この方針は、すべての年齢区分のすべての体重別階級に適用される。

3 名、またはそれ以下の人数がエントリーしている体重別階級のみカテゴリー統合の対象となる。しかしながら、2 名～3 名のエントリーで、安全にカテゴリー統合を行うことが可能ではない場合、ガイドラインに従い、3 名での総当たり戦、または 2 名による 3 試合で勝者を決める方法が考慮される。

A) 同じ年齢区分の中での統合

可能な限り選手は自分が属する年齢区分で試合をする。

B) 体重別階級の統合

体重別階級を統合する場合は、1 階級下の階級もしくは 1 階級上の階級のみとする。

ただし、男女の最軽量ならびに最重量については、実際の体重の違いによって特別に取り扱う。

（ガイドラインでは、経験など考慮すべき要因がなければ、最軽量級を統合した場合の実際の体重の違いは最大 10 キロまで、最重量級を統合した場合の実際の体重の違いは 20 キロまでとする。）

カテゴリーを統合する場合は、体重を第一に考慮し、年齢区分内での統合、もしくは他年齢区分との統合を以下のガイドラインに沿って決める。

C) 年齢区分

M7/F7、もしくはそれ以上の選手（M8/F8、M9/F9 等）は、一つ上の年齢区分、または一つ下の年齢区分とのみ統合されることができる。例えば M7/F7 は、M6/F6 または M8/F8 とのみ統合可能。

M6/F6 の選手は、一つ上の年齢区分（M7/F7）、または二つ下までの年齢区分（M5/F5、M4/F4）とのみ統合されることができる。

M5/F5 の選手は、一つ上の年齢区分（M6/F6）、または二つ下までの年齢区分（M4/F4、M3/F3）とのみ統合

されることができる。

M4/F4 の選手は、二つ上までの年齢区分（M5/F5、M6/F6）、または二つ下までの年齢区分（M3/F3、M2/F2）とのみ統合されることができる。

M3/F3 の選手は、二つ上までの年齢区分（M4/F4、M5/F5）、または二つ下までの年齢区分（M2/F2、M1/F1）とのみ統合されることができる。

M2/F2 の選手は、二つ上までの年齢区分（M3/F3、M4/F4）、または一つ下の年齢区分（M1/F1）とのみ統合されることができる。

M1/F1 の選手は、二つ上までの年齢区分（M2/F2、M3/F3）とのみ統合されることができる。

(元の) 年齢区分	年上の年齢区分	年下の年齢区分
M1/F1	M3/F3	適用なし
M2/F2	M3/F3 M4/F4	M1/F1
M3/F3	M4/F4 M5/F5	M1/F1 M2/F2
M4/F4	M5/F5 M6/F6	M2/F2 M3/F3
M5/F5	M6/F6	M3/F3 M4/F4
M6/F6	M7/F7	M4/F4 M5/F5
M6/F6	M7/F7	M4/F4 M5/F5
M7/F7	M8/F8	M6/F6
M8/F8	M9/F9	M7/F7
M9/F9	M10/F10	M8/F8
M10/F10	M11/F11	M9/F9
M11/F11	M12/F12	M10/F10

予選システム

エントリーの人数により、試合において採用される予選の方式は以下のように異なる。

エントリー数 1名： 試合は行われない（または階級を統合する）

エントリー数 2名： 3試合行い、勝者を決定（または階級を統合する）

エントリー数 3名： 3名による総当たり戦（または階級を統合する）

エントリー数 4名： 4名による総当たり戦

エントリー数 5名： 5名による総当たり戦

エントリー数 6名： 3名ずつ2つの組に分け、それぞれ総当たり戦を行う。

それぞれの組の上位2名の選手が準決勝に進む。

プールAの1位の選手はプールBの2位の選手と、プールBの1位の選手はプールAの2位の選手と戦う。

エントリー数 7名： 4名と3名の2つの組に分け、それぞれ総当たり戦を行う。

それぞれの組の上位2名の選手が準決勝に進む。

プールAの1位の選手はプールBの2位の選手と、プールBの1位の選手はプールAの2位の選手と戦う。

エントリー数 8名： 4名ずつ2つの組に分け、それぞれ総当たり戦を行う。

それぞれの組の上位2名の選手が準決勝に進む。

プールAの1位の選手はプールBの2位の選手と、プールBの1位の選手はプールAの2位の選手と戦う。

エントリー数 9名以上： 敗者復活戦（ダブルレペチャージ）を伴うトーナメント方式。

（Compound knockout with Double repechage）

これは、1回戦から最終的な2名のファイナリストのいずれかに負けたすべての選手に敗者復活戦の機会を与え、敗者復活プールAと敗者復活プールBを勝ち上がった選手が銅メダリストになることを意味する。

年齢区分が同じ場合は同日に行われる。

計量

公式計量は、その階級の試合の前日に行われる。

非公式計量のための体重計は、会場のウォーミングアップエリアに設置してある。

公式計量のルールは下記の通り

- ・公式計量が終了した後、計量に現れた場合、その選手は大会に参加することが許されない。
- ・体重計には、公式計量時間中に一度しか乗ることができない。
- ・計量時にア krediyteshonkard及びパスポートを持参すること。

アンチドーピング

本大会においては、アンチドーピング・コントロールは行われない。

メダル

メダルはそのカテゴリーで実際に試合をした選手にのみ与えられる。最終的なメダルの授与は試合をした選手数によって決定される。3位については、その選手が実際に一度試合に勝利している場合にのみメダルが与えられる。メダル授与のルールは以下の通り。

選手1名 参加メダル

選手2名 メダル2個

選手3名 メダル3個

選手4名 メダル4個

選手5名 メダル4個

選手6名以上 メダル4個

カテゴリーが統合されて試合が行われた場合、その統合された階級において与えられる選手へのメダルは1セットのみとする。

柔道衣

すべての選手は白・青両方の柔道衣を必ず持参しなければならない。IJFの公認柔道衣でなくてもよいが、サイズ等はルールに沿ったものであること。

ゼッケン

選手は必ず白と青両方の試合用柔道衣に、IJF 公式ゼッケンを付けなければならない。

抽選

抽選は試合前日の夜に行われる。IJF ベテラン委員承認後、オンラインで直ちに発表される。

参加する選手個人、もしくは参加連盟の責任者は、掲示されている参加者の名前、年齢区分、階級区分を確認すること。

シードはない。

コーチ

アクレディテーションを持っているコーチ 1 名は、試合場内に入ることが出来る。

コーチは試合中、試合場内の縁のコーチ席に座っていないとてはならない。

コーチ IJF のコーチルールを遵守すること。

コーチ ID はレジストレーション時に配布する。

公式ホテル

Novotel Amsterdam City

会場から 4 km スキポール空港から 12.5 km

1 泊 1 室 朝食付き—シングル 130 ユーロ ツイン 150 ユーロ トリプル 170 ユーロ

IBIS Amsterdam Airport Hotel

会場から 10.5 km スキポール空港から 5 km

1 泊 1 室 朝食付き—シングル 101 ユーロ ツイン 118 ユーロ トリプル 170 ユーロ

送迎

主催者は、オンライン予約システムで手配した、公式ホテルに宿泊する参加者へ無料送迎を手配する。

送迎

—試合期間中の会場とホテル間

空港—ノボテル間はアムステルダム RAI 電車で 10 分 (15 分毎)

空港—IBIS 間は送迎バスが朝 5 時から深夜 1 時まで走っている